



まきた こ
牧田っ子 No.11

がくりよくちようさほうこくごう
学力調査報告号

TEL 378-0516 FAX 378-9530

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/maki-e/>

れいわ ねんと ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果より

ほんねん がつ ねんせいたいしゅう じっし れいわ ねんとぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか もんぶ
本年4月に6年生対象に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部
かがくしゅう こうひょう ちようさ ぜんこく じどう がくりよく がくしゅうじょうきょう はあく じゆぎょう
科学省から公表されました。この調査は、全国の児童の学力と学習状況を把握し、授業や
せいかつしゅうかん かいぜん やくだ ちよくてき へいせい ねんと (2007年度) より実施されています。

ほんこう けっか ほんひょうこ こうない ぐわ ぶんせき おこな ぶんせきけっか げんざい 6年生はさくねん
本校でも結果の発表後、校内で詳しい分析を行いました。分析結果から、現在の6年生は昨年
くら にくくこ さんすう ぜんこく へいぎんせいとうりつ ちか ないよう りかい
に比べ、国語で+3.4%、算数で+1.7%全国の平均正答率に近づいています。内容を理解できて
いる児童の層も、国語で+12%、算数で+25%と大幅に増加し、学力に関連するデータが
ぜんたいてき かいぜん いぜん くに へいぎん たい さ があり、今後も学校・
かてい ちいき きょうりよく がくりよくこうじょう ほか けっか ぶんせきないよう きょうりよく
家庭・地域で協力して学力向上を図るために、結果と分析内容を共有いたします。

へいぎんせいとうりつ 平均正答率	こくご 国語	さんすう 算数
ほんこう ぜんこくとの差 本校%の全国との差	-5.2%	-4.5%
さくねんどひ 昨年度比	+3.4%	+1.7%

こくご
国語

もっと せいとうりつ ひく もんだい もんだい すひょう もち じぶん かんが つた
最も正答率が低かった問題は、問題(1, 2)「図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるよ
うに書き表し方を工夫する」で全国比-8.9%でした。複数の条件を満たして記述することが
ひつよう わり じどう もんだい ないよう よ と もっと ぜんこくひ さ ひら
必要で、2割の児童が問題の内容を読み取れなかったようです。また、最も全国比との差が開い
た問題は、問題(3, 2)「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し相手の考えと比較しながら
自分の考えをまとめる」で全国比-12.7%でした。問題が求める条件を満たして記述でき
ない児童が多く、2割の児童が無回答でした。読み取りに加えて粘り強く取り組むことにも課題
があるようです。課題であった「読む・書く」に関しては改善がみられ、「読む・書くシート」
や、新たな「よむYOMUワークシート」の取り組みの効果がでてきていると考えられます。

こくご がっこう とりぐみ 国語の(学校としての取組)	こくご かてい とりぐみ 国語の(家庭での取組)
<ul style="list-style-type: none"> まいあさ かんじ がくしゅう けいぞく ・毎朝のモジュールで漢字の学習を継続する。 しゅう 1かい 新聞記事をもとにしたがくしゅうシートを 活用し、的確に読み取る力をつける。 ぶんしょう か さい よ と さい しゅご ・文章を書かせる際、読み取る際に、主語や 述語を意識させ、条件に沿って記述できてい るか推敲させることに努める。 こうない としょかんかつどう いっそうじゅうじつ ・校内の図書館活動をより一層充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> どくしょ しゅうかん つながるよう、お子様にかてい での読書をぜひ勧めてください。 し としょかん まち ほんや かねてい ・市の図書館や街の本屋さんなど、ご家庭で も本に触れる機会を増やしてください。 てきせつ ひょうげん せいかく ことばをみ ・適切な表現や、正確な語彙を身につけるた め、家庭の会話なども意識してください。

さんすう 算数

最も正答率が低かった問題は、問題（2，（4）「高さが等しい三角形で、底辺と面積の関係を基に大小を判断し、その理由を記述する」で全国比-5.7%でした。三角形の面積を決定づけるのは底辺と高さの2要素のみであることが理解できている児童は、全体の約40%しかいませんでした。また、最も全国比との差が開いた問題は、問題（3，（2）「示された日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを式や言葉で記述し、条件に当てはまるかどうかを判断する」で全国比 -8.8%でした。児童のうち約1割は、求め方の記述ができましたが、計算処理が適切にできない児童が目立ちました。また、3割の児童が問題の要旨や条件を読み取れず、言葉や数、式を使って記述できませんでした。

どの問題も基本的な知識を身につけた上で、問題の要旨を的確に読み取り、それぞれの問題に
 応じた考察や処理ができる力に依然として課題があると言えます。

さんすう 算数の（学校としての取組）	さんすう 算数の（家庭での取組）
<ul style="list-style-type: none"> 週1回、「まなび場」を活用した宿題を課題とすることで、算数の基礎学力定着を図る。 見通しをもち、根拠を明らかにし、道筋を立てて考える学習活動を充実する。 言葉や数・式・図・表・グラフを用いて問題を解決する、考えを算数用語で説明する、考えを発表し合うなどの学習活動を充実させる。 日頃から四則混合計算などの練習を通じて、基礎的な計算力のアップを図る。 国語科と連携し、各単元にふさわしい言語活動を決め、思考力・判断力・表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題など家庭でする課題の実施状況をチェックしてください。 九九の暗記など、ご家庭でも応援できるところは、協力をお願いします。 算数では、「理解の速度」が各個人で異なります。早く理解できても適切な処理ができなければ答えは出せません。時間が経っても、あきらめず問題に取り組む姿勢を家庭でも大切にしてください。

ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか とらえ 全国学力・学習状況調査の結果の捉え方

以上のように紹介いたしました全国・学力学習状況調査で得られた結果は、あくまで学力の一部分を表すものでしかありません。しかしながら普段は見えにくい学力の一部を表す資料として大いに参考になるものと考えられます。今回の分析結果をもとに、今後の学校の授業改善や、宿題など課題への取組を見直していきます。また、ご家庭でも、上記の表の（ご家庭での取組）を参考に、家庭生活や家庭学習への取り組みを見直していただけたらと思います。よろしく
 お願いします。

じどうしつもんし 児童質問紙より

児童質問紙は、アンケート形式で児童の生活や学習の様子を知り、今後の学校生活や家庭生活に生かすために全国・学力学習状況調査と一緒にされる調査です。以下に本校の特徴となる結果をまとめましたので、ご家庭の生活の参考にしていただきますようお願いいたします。

せいかつしゅうかん かん 生活習慣に関すること

質問項目	牧田小の全国差
朝食を毎日食べていますか (肯定的回答)	-6.2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (肯定的回答)	-11.1%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (肯定的回答)	-8.3%

起床と就寝の時刻に関する項目は、全国比でどちらも約10%前後ダウンとなりました。昨年度のデータと比べても10~18%のダウンとなっています。原因は、スマートフォンやゲーム機等のICT機器の使用による影響なのか詳しくは分かりませんが、今一度規則正しい生活がおくれるよう、ご家庭でご配慮いただけたらと思います。

中学生になったら、早朝から夕方まで、自分自身で1日のスケジュール管理がしっかりできることが、部活動や勉強に励むための基本となります。小学校の内に、望ましい就寝・起床・喫食ができるようにしっかりと1日のリズムを作っていただきたいと思います。

かていがくしゅう かん 家庭学習に関すること

質問項目	牧田小の全国差
家で自分で計画を立てて勉強していますか？ (肯定的回答)	-11.8%
学校の授業以外に普段どのくらいの時間勉強をしますか？ (1時間以上)	-7.8%
学校の授業以外に普段どれくらいの時間、読書をしますか。 (30分以上)	-5.8%

家庭学習に関する上記2項目も、昨年度より10%ダウンとなっています。中学からは、自分で計画を立て、自分で家庭学習する以外に学力アップは望めません。塾などで学ぶとしてもあくまでも補助的なものでしかありません。どんなに時代が変わっても、学んだ知識は自分の記憶にコツコツと積み上げる以外、ほかに学力を上げる方法はありません。残りの半年間、ぜひ自分で計画を立て、自分で勉強できる人になってほしいと思います。

一方、読書は全国比-5.8%ですが、逆に昨年度より10%近くアップしています。読書ができる長所を生かして、今後更に読書に親しんで、「論理的思考」や「抽象概念」、「学んだことを応用する力」、「説明する力」、「探求する力」、「課題を解決する力」、そして「文章を書く力」を育ててほしいと思います。

ゆた 豊かな人間性に関すること

質問項目	牧田小の全国差
自分には良いところがあると思いますか (肯定的回答)	+1.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (肯定的回答)	-5.1%
人がこまっているときは、進んで助けていますか (肯定的回答)	-5.3%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (肯定的回答)	+5.4%
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いたいですか (肯定的回答)	+5.5%
日本やあなたが住んでいる地域のことに、外国の人にもっと知ってもらいたいですか (肯定的回答)	+2.7%

自分には良いところがあると思っている児童が、全国比を超えて約9割近くもいることがとても嬉しいです。なんと昨年度より20%以上のアップとなりました。何かに挑戦する勇気や、正しいことをやり通す勇気をもつには、その前に自分自身を信じる力が必要です。その結果失敗したり、間違ったりしても大丈夫です。その経験が何よりも大切な学びとなり、自分をさらに強く大きく成長させてくれるからです。自分を信じる姿勢を大切にして、困っている人を見たら、自信をもって迷わず助けられる人になってほしいと思います。

いじめについては、どんなにもっともらしい理由があっても、「誰かが誰かをいじめてよい」ということにはなりません。傷つけた人の心を元に戻すことはできませんし、いじめをした人も、いじめをした事実を消すことはできません。いじめをした人は、いじめていた人から許されない限り、どんなに時間が経ってもいじめた責任を問われて当然であり、その事実を背負って生きていくこととなります。いじめは理由に関係なく、人として、してはいけない行為です。

多文化共生に対する前向きで未来志向な考え方や姿勢は、牧田小学校の児童がもつ、未来をひらく大切な力です。牧田小学校で様々な国や文化にルーツのある友達と一緒に学んだり、遊んだりした経験を生かして、将来世界で活躍できる人材に育ててほしいと思います。

最後に困ったときや不安な時に、迷わず大人に相談できる数字が、全国平均を大きく上回っていることは、少し安心できる結果でした。苦しいときに、素直に周りの人に助けを求められる姿勢は、ある意味主体性の一つとも考えられ、将来社会で生きていく上でとても大切な力です。

児童質問紙の結果の捉え方

以上が今年度の児童質問紙の結果でした。結果は学力・学習状況調査と同じく、あくまで児童の生活状況の一部分を表すものでしかありません。しかしながら、こちらも生活実態を表す資料として参考になると考えられます。学校はもちろんですが、ぜひお家でも、お子さまの生活改善や、生活面でのアドバイスなどの参考にしていただけたらと思います。